

合併効果の主な事例 ①

1 行政の効率化・充実化

① 職員数の削減などの効率的な行政運営

- 非合併市町村に比べ職員数、議員数を削減

（参考）行財政指標からみた合併効果

①「職員減少率（総職員数）」、②「議員定数減少率」

- 公共施設等の適正配置

【小学校・中学校】（9）

- ・ 小・中学校の統合（飯塚市、八女市、宗像市、うきは市、嘉麻市、みやま市、上毛町）
- ・ 小学校5校を再編し宮若西小学校へ統合し、宮若西中学校との施設一体型の小中一貫校として整備（宮若市）
- ・ 旧村の小学校を小中一貫校（東峰学園）として統合（東峰村）
- ・ 中学校を4校から2校に再編し、うち1校は新校舎を建築（宮若市）
- ・ 穎田地区に公民館、児童センターを併設した小中一貫校を整備、中心部には飯塚健幸プラザ、飯塚街なか子育て広場を開設（飯塚市）

【保育所・幼稚園等】（9）

- ・ 保育所、幼稚園の統廃合（飯塚市、宗像市、うきは市、宮若市、嘉麻市）
- ・ 保育所等の民営化（飯塚市、八女市、宗像市、宮若市、嘉麻市、筑前町、みやこ町、上毛町）

【保健福祉施設】（6）

- ・ 保健福祉施設（保健センター等）の統廃合（久留米市、飯塚市、宗像市、宮若市、福智町、みやこ町）

【公民館・生涯学習施設】（5）

- ・ 公民館の廃止（宗像市、上毛町）
- ・ 旧築城町の庁舎と公民館を取り壊して、イベントもできる公民館機能を備えた築上町コミュニティセンター（ソピア）を設置（築上町）
- ・ 新生涯学習センター等を建設し公共施設を集約化（うきは市、みやま市）

【火葬場】（3）

- ・ 旧町にそれぞれあった火葬場を統廃合（宮若市、みやこ町）
- ・ 田主丸地域で利用していた「うきは久留米環境施設組合火葬場」を廃止して久留米市斎場に一本化（久留米市）

【水道事業】（3）

- ・ 水道事業を統合し、設備の更新等に効果があった（みやま市）
- ・ 2つあった簡易水道を1つに統合（上毛町）
- ・ 上水道と簡易水道を統合（築上町）

【その他】

- ・ 体育施設の廃止（飯塚市、八女市）
- ・ キャンプ村、野外活動センター、ゲートボール場の廃止（嘉麻市）
- ・ 「天郷青年の家」（学生向け宿泊・研修施設）・「養護老人ホーム天郷荘」の廃止（福智町）
- ・ 牧場の民営化・浄水場の廃止（宗像市）
- ・ 消防署分遣所を統廃合して出張所とし、救急車と消防車を配置（柳川市）
- ・ 国保直営診療所、特別養護老人ホーム、デイサービスセンターを社会福祉法人が一体的に運営（上毛町）
- ・ 漁業協同組合の統合（宗像市）
- ・ 合併時に持ち寄った旧村の類似のイベント等を事務事業評価で見直し（東峰村）
- ・ 旧町の祭りの統合（筑前町）

② 専門組織の設置や専門職の配置

○ 専門組織の設置

【地域活性化】(10)

- ・ 地域政策課の新設（久留米市）
- ・ 地域づくり・文化振興課（現地域振興課）を新設（八女市）
- ・ 地域活性化推進室を設置（宗像市）
- ・ うきはブランド推進課の立ち上げ（うきは市）
- ・ 地域活性推進課を設置（嘉麻市）
- ・ 企業誘致推進室を新設（糸島市）
- ・ まちづくり総合政策課を設置（福智町）
- ・ 観光まちづくり課を新設（みやこ町）
- ・ 開発交流推進課を新設（上毛町）
- ・ 地域振興課を新設（築上町）

【子ども子育て・食育】(10)

- ・ 子育て支援部の新設（久留米市）
- ・ 子育て支援課相談係を設置（柳川市）
- ・ 子育て支援課を設置（八女市）
- ・ 子ども部（現教育子ども部）を設置（宗像市）
- ・ こども課内に家庭児童相談窓口を設置（福津市）
- ・ 子育て支援課の設置（宮若市）
- ・ 子ども子育て課を新設（みやま市）
- ・ 家庭児童相談室の設置（みやま市）
- ・ こども課の設置（筑前町）
- ・ 子ども未来課を新設（上毛町）
- ・ 食育推進による係の新設（うきは市）
- ・ 教育委員会に食育推進班を設置（上毛町）

【都市政策】(5)

- ・ 中心市街地活性化推進課を新設（飯塚市）
- ・ 都市施設整備推進室新設（東京オリ・パラキャンプ誘致ほか）（飯塚市）
- ・ 区画整理推進室を設置（柳川市）

- ・ 都市計画や都市政策の振興を図るため、都市政策課を新設（築上町）
- ・ 下水道部の新設（久留米市）
- ・ 下水道部の新設（上毛町）

【企業誘致】（5）

- ・ 企業誘致推進室の新設（飯塚市）
- ・ うきはブランド推進課の立ち上げ（うきは市）
- ・ 企業誘致推進室を新設（みやま市）
- ・ 観光まちづくり課を新設（みやこ町）
- ・ 企業立地課を新設（築上町）

【観光振興】（5）

- ・ 文化観光部の新設（久留米市）
- ・ 観光課に観光地域づくり係を新設（柳川市）
- ・ 観光振興課と商工振興課を統合して商工観光課に変更（八女市）
- ・ 観光まちづくり課を新設（みやこ町）
- ・ 開発交流推進課を新設（上毛町）

【防災防犯・危機管理】（5）

- ・ 安心安全課を設置（柳川市）
- ・ 防災安全課を新設（八女市）
- ・ 生活安全課（現地域安全課）（宗像市）
- ・ 危機管理課を新設（糸島市）
- ・ 危機管理対策係を新設（みやこ町）

【コミュニティ】（4）

- ・ 市民活動推進課の新設（飯塚市）
- ・ 総務課内に市民協働推進係を設置（柳川市）
- ・ 市民活動推進課、市民活動交流室の設置（宗像市）
- ・ 「郷づくり支援室」を「郷づくり支援課」に昇格（福津市）

【税徴収対策】（4）

- ・ 税等の収納対策を推進するため、「収納課」を新設（福津市）
- ・ 収納対策課の設置（宮若市）
- ・ 徴収対策課を新設（みやこ町）
- ・ 税務課にふるさと納税に関する係を設置（上毛町）

【ブランド推進】（3）

- ・ 産業活性化推進室（現柳川ブランド推進室）を設置（柳川市）
- ・ うきはブランド推進課の立ち上げ（うきは市）
- ・ ブランド推進課の新設（糸島市）

【その他】

- ・ スポーツ振興課を設置（八女市）
- ・ 健康スポーツ課の新設（飯塚市）
- ・ 健康づくり課を新設（みやま市）
- ・ 世界遺産登録推進室の設置（宗像市）
- ・ エネルギー政策課を新設（みやま市）
- ・ 市民相談室を新設（みやま市）

○ 専門職の配置

【保健福祉分野（保健師、看護師、栄養士、母子自立支援員など）】（8）

- ・ 福祉部門に専任の職員を配置（宗像市）
- ・ 保健師（宮若市）
- ・ 保健師（糸島市）
- ・ 保健師の増員（福智町）
- ・ 保健師、看護師、栄養士（築上町）
- ・ 看護師、栄養士の採用（うきは市）
- ・ 母子自立支援員の採用（飯塚市）
- ・ 生活保護の査察指導員として、県より1名派遣（嘉麻市）

【土木・建築分野（土木技師、建築技師など）】（4）

- ・ 建築士（八女市）
- ・ 土木技師、建築技師（糸島市）
- ・ 建築技師（宮若市）
- ・ 旧市の土木技師を新市における町部の下水道整備に活用（宗像市）

【税務分野（徴収専門官など）】（2）

- ・ 収税部門に専任の職員を配置（宗像市）
- ・ 税務課に徴収専門官を配置（築上町）

【その他】

- ・ 防災専門官を配置（筑前町）
- ・ 消費生活相談員を配置（筑前町）
- ・ 埋蔵文化財専門職員の正規職員化（福智町）

合併効果の主な事例 ②

2 財政基盤の充実・強化

① 財政上の効果

- 合併特例債等の活用による投資的事業の実施や基金の積立
(参考) 行財政指標からみた合併効果
 - ④「普通建設事業費」、⑤「地方債現在高」、⑥「基金現在高」
- 財政指標(標準財政規模、経常収支比率)が改善し、財政運営の自由度が向上
(参考) 行財政指標からみた合併効果
 - ③「標準財政規模」、⑦「経常収支比率」

など

② 重点的な投資の実施(合併特例債活用事業など)

【まちづくり1】

- ・ 企業誘致、工場誘致(飯塚市、八女市、宗像市、みやま市、筑前町、築上町)(6)
- ・ 拠点駅周辺整備(久留米市、柳川市、宗像市、福津市)(4)
- ・ 中心市街地活性化(飯塚市、朝倉市)(2)

【まちづくり2】

- ・ 観光(物産)施設(久留米市、飯塚市、宗像市、福津市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、みやこ町)(9)
- ・ 平和記念館(筑前町)(1)
- ・ 中小企業・個人事業主等をサポートする支援拠点の整備(うきは市)(1)

【まちづくり3】

- ・ 公園(久留米市、飯塚市、宗像市、福津市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、筑前町、福智町、上毛町)(10)
- ・ 体育施設(久留米市、柳川市、宗像市、うきは市、宮若市、朝倉市、福智町)(7)
- ・ コミュニティセンター(柳川市、宗像市、うきは市、宮若市、朝倉市、築上町)(6)
- ・ 図書館(宗像市、うきは市、宮若市、糸島市)(4)

【学校等】

- ・ 幼稚園・保育所等(久留米市、飯塚市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、筑前町、福智町)(8)
- ・ 学校給食施設(久留米市、飯塚市、宗像市、福津市、うきは市、朝倉市、筑前町、福智町、みやこ町)(9)
- ・ 学校空調機器設置(飯塚市、柳川市、嘉麻市、朝倉市、福智町)(5)
- ・ 学校施設の耐震化(飯塚市、柳川市、宗像市、うきは市、朝倉市)(5)

【庁舎、情報通信】

- ・ 庁舎建設・改修(久留米市、飯塚市、柳川市、宗像市、福津市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、糸島市、筑前町、東峰村、福智町、みやこ町、上毛町、築上町)(17)

- ・ 電算システム統合（飯塚市、八女市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、糸島市、筑前町、みやこ町、上毛町、築上町）（12）
- ・ 防災行政無線（飯塚市、福津市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、糸島市、筑前町、東峰村、福智町、みやこ町）（12）
- ・ 情報通信基盤整備（地域イントラネット、高速通信など）（柳川市、宗像市、うきは市、宮若市、朝倉市、みやま市、筑前町、東峰村、みやこ町、上毛町、築上町）（11）

【公共サービス等】

- ・ 道路整備（久留米市、飯塚市、柳川市、宗像市、福津市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、筑前町、東峰村、福智町、みやこ町、築上町）（15）
- ・ 火葬場・斎場（久留米市、柳川市、宗像市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやこ町、築上町）（9）
- ・ ごみ処理施設（久留米市、飯塚市）（2）
- ・ 消防署出張所の整備（柳川市、みやま市）（2）
- ・ 上下水道の整備（久留米市、筑前町）（2）

【財政規模の増大による総合的人口減少対策】

- ・ 財政規模が大きくなり、総合的人口減少対策の実施（空き家バンク、新婚世帯家賃支援、マイホーム取得支援、空き家改修）が可能に（柳川市）（1）

【その他】

- ・ 総合都市プラザ（久留米市）
- ・ 子育て世代包括支援センター（福智町）
- ・ 農業用施設（ため池・水路等）の整備（福津市）

合併効果の主な事例 ③

3 住民サービスの充実

① 一部の市町村で実施されていた住民サービスを新市町村全域で実施

【福祉サービス】

- ・ 介護用品の給付サービスを全市域に拡大（久留米市、宗像市）（2）
- ・ 在宅福祉サービスを全市域に拡大（福津市）（1）
- ・ 福祉バス、福祉タクシーの運行拡大・制度統一（飯塚市、朝倉市、みやま市、築上町）（4）
- ・ 住民検診の対象年齢引き下げた（久留米市、飯塚市）（2）
- ・ 福祉バスの利用年齢制限をなくした（筑前町）（1）
- ・ コミュニティバスや予約乗り合いタクシーを全域で運行開始（宗像市、飯塚市）（2）
- ・ 住民検診の実施方法の統一（八女市、宗像市、嘉麻市、みやま市）（4）
- ・ 障がい者交通費補助（タクシー券）を全市域に拡大（うきは市）（1）
- ・ 大島地域で、配食サービスの回数増加や軽度生活支援事業を実施（宗像市）（1）

【学校、保育】

- ・ 延長保育、学童保育における事業内容の統一（飯塚市、宗像市、うきは市、嘉麻市、みやま市、上毛町、築上町）（7）
- ・ 少人数学級の実施（久留米市、八女市、嘉麻市、みやま市、福智町）（5）
- ・ 学校での完全給食制の実施を全市域に拡大（宗像市、福津市、うきは市、宮若市）（4）
- ・ 小学校における外国語講師による学習を市内全小学校に拡大（飯塚市）（1）
- ・ 保育料の一元化（飯塚市、宗像市、朝倉市、糸島市、上毛町、築上町）（6）
- ・ 旧町で実施していた保育所への広域入所を全市域に拡大（うきは市）（1）

【インフラ整備】

- ・ 旧団体で整備していた防災行政無線を全域に拡大（飯塚市、うきは市、みやこ町）（3）
- ・ 公共下水道及び漁業集落排水事業の整備（宗像市）（1）
- ・ 合併施策の水道事業について、平成 30 年度完成予定で取組（筑前町）（1）

【行政サービス、補助金等】

- ・ 無料法律相談を全市域に拡大（久留米市）（1）
- ・ 消防分野における緊急通信指令システムの一元化（久留米市）（1）
- ・ 図書館サービス（貸出冊数、移動図書館車の運行範囲）の統一・拡大（糸島市）（1）
- ・ 水洗工事助成金について、旧築城町の制度を旧椎田町に拡大（築上町）（1）
- ・ 高収益型園芸産地育成事業補助金への継ぎ足し補助について、旧浮羽町の制度を旧吉井町に拡大（うきは市）（1）

【その他】

- ・ 廃棄物減量等推進員制度導入及び報酬の統一（久留米市）

② 公共施設等利用の選択肢の広がり

- ・ 住民検診の受診機会の拡大（久留米市、福津市、朝倉市）（3）
- ・ 図書館の相互利用が可能になった（久留米市、飯塚市、福津市、うきは市、朝倉市）（5）
- ・ 旧3市町の図書館において、共通利用カードにより平等な図書館サービスを提供（糸島市）（1）
- ・ 図書館を効率的に利用できるよう3館のうち1館の休館日をずらした（みやこ町）（1）
- ・ 公民館、社会体育施設のインターネット予約開始（飯塚市）（1）
- ・ 中学校の通学区域の見直し（みやま市）（1）
- ・ 合併により保育所の数が増え、保護者が保育所を選択可能になった（筑前町）（1）
- ・ 一部小規模校での小規模特認校の実施（福智町）（1）

合併効果の主な事例 ④

4 地域振興策の充実

① 旧市町村域を超えた地域資源の活用

【広域的な観光資源を活かした観光客の誘致】(3)

- ・ 旧町間を連なる海岸線を活かした海岸観光の推進（福津市）
- ・ 森林セラピーの拠点化をした他、市全域が風景街道として登録された（うきは市）
- ・ 交通利便性の高い地域を市の玄関口として観光客を呼び込み、歴史ある街並み等の歴史文化資源に誘導することで、広域的観点からの市内活性化を推進（福津市）
- ・ 観光資源を巡るスタンプラリーや年間を通じたウォーキング事業を実施（東峰村）

【特産品の充実】(2)

- ・ 道の駅で販売する物産の充実（みやま市）
- ・ 地域の特性と特産品の情報を共有し、新たな地域資源の発掘と特産品の開発支援を実施（久留米市）

【特色あるイベントの開催】(3)

- ・ みどりの里づくり事業（久留米市）
- ・ 旧3町のイベントを見直し、新市としてテーマに応じた特色あるイベントを開催（みやま市）
- ・ 旧町ごとにあった神楽団体と協力して、全町共通のイベントとして隔年で神楽民俗芸能祭を開催し、町全体の活性化を図っている（築上町）

【単独では難しいイベントの誘致】(1)

- ・ 2020 東京パラリンピックの事前キャンプを誘致（飯塚市）

【合併でエリアが広がり多様な観光資源を活かした地域活性化策が可能に】(2)

- ・ みどりの里づくり事業において、市域が拡大したことにより地域資源が増大、選択肢が増え、様々な施策を講ずることができた（久留米市）
- ・ 増加した地域資源を活かし「観光のまちづくり」の推進。各種団体と連携して取り組むことによりソーシャルキャピタルの創出にもつながる（福智町）

② 新市町村としてのブランド戦略の推進

【ブランド推進・観光振興に係る組織の設置】(5)

- ・ ブランド推進協議会の立ち上げ（柳川市）
- ・ 「産業活性化推進室（柳川ブランド推進室）」の設置（柳川市）
- ・ 「うきはブランド推進課」の立ち上げ（うきは市）
- ・ PR係を設置し体感型観光の確立による観光客の誘客（嘉麻市）
- ・ 「まちづくり総合政策課」を設置（福智町）
- ・ 観光まちづくり協会を設置し交流人口増加や観光振興に繋げている（みやこ町）

【ブランド推進計画等の策定】(3)

- ・ 「久留米市観光・MICE 戦略プラン」の策定（久留米市）
- ・ ブランド推進計画の策定（糸島市）
- ・ キャッチフレーズ「食に感謝し平和を願うまち」のもと、ファーマーズマーケットみなみの里、大刀洗平和記念館を整備（筑前町）

【特産品や観光資源の開発・ブランド化】(6)

- ・ 農商工連携事業として新たにオリーブ栽培を開始。また、ツバキ油、チョウザメの養殖、菜種油、柿ワイン等を候補に新商品の開発に取り組む（うきは市）
- ・ お米のブランド化、販路拡大（宮若市）
- ・ 筑前クロダマル（黒大豆）の生産及び商品開発、筑前麦太郎・麦香ちゃんの商品開発（筑前町）
- ・ 特産品や特産品を使った新商品の開発（宗像市、福智町）
- ・ 伝統的建造物群保存地区である吉井の白壁土蔵町並み地区の電線の一部を地中化し、新たな観光資源として誘客（うきは市）

【特産品や観光資源のPR施策】(5)

- ・ 伝統的工芸品や地元特産品を活用したスイーツ大茶会（福智町）
- ・ 特産品をふるさと納税の返礼品に活用することで町のイメージアップ（福智町）
- ・ 小石原焼伝統産業会館に登り窯を新設し、ITやメディアを活用して情報発信（東峰村）
- ・ シティプロモーションの展開（宮若市、みやま市）
- ・ 旧市の情報発信力と旧町の地域資源を活用した外国人観光客の誘致（久留米市）

【その他】

- ・ 座禅体験や農産物の収穫体験等、柳川発の着地型観光を実現。こうしたブランド事業を進めるにつれ、異業種間の連携も促進（柳川市）

課題の解決に向けた取組事例 ①

1 合併に伴い生じた住民不安の解消

① 役場が遠くなり、以前よりも不便になっている

【交通体系の整備】

- コミュニティバスやデマンド交通の運行(12)
 - ・ 旧町間を結ぶコミュニティバスを運行（福津市、うきは市、福智町、築上町）
 - ・ コミュニティバスの増便・路線追加（宗像市、糸島市）
 - ・ コミュニティバス路線の見直しと料金統一（嘉麻市）
 - ・ 生活支援交通として『よりみちバス』を導入（久留米市）
 - ・ デマンド交通を導入（飯塚市、八女市、うきは市、みやこ町）
 - ・ 高齢者外出支援タクシー利用助成事業（東峰村）
- 路線バスの利便性向上(3)
 - ・ 路線バスを中心とした新たな公共交通システムを構築（朝倉市）
 - ・ 福祉バスと路線バスとの連結強化や待合所・駐輪場の改修を実施（筑前町）
 - ・ 路線バス市内周回線の増設、路線バスの料金統一を実施（嘉麻市）

【情報通信ネットワークの整備】

- 防災行政無線等の整備(5)
 - ・ 防災行政無線の整備（福津市、宮若市、朝倉市）
 - ・ 旧町それぞれ異なっていた防災行政無線システムの統合（筑前町）
 - ・ 緊急情報伝達システムの構築（宗像市）
- コミュニティFMの運営(2)
 - ・ ケーブルテレビ開局によるコミュニティ放送の実施（東峰村）
 - ・ コミュニティFM放送事業を実施（八女市）
- 地域公共ネットワークの整備(2)
 - ・ 公共施設間を結ぶ地域イントラネットを整備し、住民開放端末の設置や郵便局などで証明書を発行（宮若市）
 - ・ 旧町で整備した公共施設間のネットワークを接続して、全町域のネットワークを構築（みやこ町）

【住民が行う手続の利便性向上】

- コンビニ納付・交付の実施(2)
 - ・ 公共料金のコンビニ収納及び住民票等のコンビニ交付を実施（八女市）
 - ・ 市税や保育料などコンビニ納付を導入し、利便性を向上（みやま市）
- 住民手続に係る窓口の設置(6)
 - ・ 総合支所に住民課窓口を設置（宮若市、嘉麻市、筑前町）
 - ・ 市民窓口部署が入っていない庁舎においても市民サービス係を設置し基礎的手続きや各種証明書の発行を実施（福津市）
 - ・ 各支所に総合窓口課を設置（みやこ町）
 - ・ 各支所に住民票や各証明書の発行業務や税申告受付、各種相談業務など市民に身近な業務を行う庶務係を設置（みやま市）

【その他】

- ・ 2つの渡船ターミナルを統合して「神湊ターミナル」として整備することで、地島へ新たにフェリー就航（宗像市）
- ・ 火葬場統合に伴う霊柩車運賃及び火葬場使用料の増額分の補助（久留米市）
- ・ 支所の空きスペースを利用して市民交流の場としての市民協働によるカフェテリア設置や空きスペースの市民開放等を検討（飯塚市）
- ・ 旧庁舎を「いとしま応援プラザ」や図書館として活用（糸島市）

② 中心部だけがよくなり、周辺部が取り残されている

○ 周辺部に配慮した投資

【ハード】

- ◎ 山間地域へのデジタル回線整備(4)
 - ・ 情報通信基盤整備（八女市、うきは市、嘉麻市）
 - ・ 山間地の小集落に高速通信網の整備、地上デジタル回線を配備（うきは市）
- ◎ 周辺部における観光・交流施設の整備(5)
 - ・ 道の駅開設と同時に観光物産館等を開業し、市の観光拠点として観光振興事業を推進（宗像市）
 - ・ 海洋体験施設「うみんぐ大島」の整備。世界遺産登録活動による観光振興を実施（宗像市）
 - ・ 周辺部の文化施設や地域間交流施設の整備（八女市）
 - ・ 若宮コミュニティセンター「ハートフル」の整備（宮若市）
 - ・ 各校区単位のコミュニティセンターを整備（柳川市）
 - ・ 南部地区の拠点として、「ちくぜん少年大使館」を整備（筑前町）
- ◎ その他
 - ・ 若者向け住宅建設による若者流出対策（みやこ町）
 - ・ 本庁舎から見ると周辺部となっている高田拠点地区において、駅周辺整備など提言書に基づき活性化を推進（みやま市）

【ソフト】

- ◎ 支援センター設置や家賃補助等の定住促進事業(7)
 - ・ 定住奨励金制度を創設（宮若市）
 - ・ 新婚世帯、子育て世帯の民間賃貸住宅入居者へ家賃の一部を助成（宮若市）
 - ・ 市内定住を希望する若い就労世帯を対象に住宅取得に係る交付金を交付（嘉麻市）
 - ・ 人口減少対策として、「空き家バンク制度」、「新婚世帯家賃支援」、「マイホーム取得支援」、「空き家改修支援」を実施（柳川市）
 - ・ 定住促進に関する指針の策定（糸島市）
 - ・ 移住・定住支援センターを立ち上げ（八女市）
 - ・ 総合戦略にも位置付けている定住促進策。住宅団地を整備。（宮若市）
 - ・ 地域資源を活かした定住促進事業を実施（上毛町）
- ◎ その他
 - ・ 「北の玄関口活性化検討委員会」を設置し、市北部の地域活性化策を検討（みやま市）
 - ・ 過疎地域に集落支援員を配置し、地域課題の調整に取り組んでいる（みやこ町）

- ・ 「離島振興計画」を策定し、離島への観光客誘致事業や活性化事業などを積極的に展開（宗像市）
 - ・ 山間地域の特性を活かした森林セラピーの認定を受け、交流人口を増やし地域の活性化を推進（うきは市）
 - ・ 地域の特性をそのまま残し、旧町の観光資源はそのまま新市の貴重な財産として有効に活用（宮若市）
- 地域コミュニティ活動への支援(15)
- 【組織・計画づくり】(11)
- ・ まちづくり協議会や地域自治組織などの立ち上げ（宗像市、福津市、朝倉市）
 - ・ まちづくり協議会や地域自治組織などを整備し、地域ごとの計画を地域自らが策定（飯塚市、八女市、うきは市、築上町）
 - ・ 地域課題の解決につながる活動を支援するため、市民提案型のまちづくり事業を推進（嘉麻市、糸島市）
 - ・ 小学校単位の公民館制度を市全域へ導入推進（うきは市）
 - ・ 自主防災組織の設立推進（宗像市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、糸島市、みやこ町、築上町）
- 【人的財政的支援】(9)
- ・ 基金を造成して、市民（団体）などが行うまちづくり・地域活性化の取組みに対して助成（宗像市）
 - ・ 「地域担当制度」を導入し、各地域のコミュニティ活動を支援（宮若市）
 - ・ 「郷づくり推進協議会」を設置し、活動に対する交付金を交付するとともに、同組織の活動を支援するため、専門部署やマネージャーを配置（福津市）
 - ・ 地域コミュニティの活性化を目的に補助金・交付金を支出している（飯塚市、福津市、朝倉市、筑前町、東峰村、上毛町、築上町）
- 地域おこし協力隊による地域協力活動(5)
- ・ 地域おこし協力隊の活用（久留米市、八女市、うきは市、みやこ町、上毛町）
- 住民の一体感の醸成
- 【合併記念イベント等の開催】(5)
- ・ 神楽民俗芸能祭を開催し、町全体の活性化を図る（築上町）
 - ・ 旧市町村域が連携した新酒祭り（久留米市）
 - ・ 旧市町で行われていた秋のイベントを「いづかオータムフェスタ」と称し、統一性を持たせてPR（飯塚市）
 - ・ イベント（秋まつり）の統合（嘉麻市）
 - ・ イベントの開催（市制10周年記念事業、ふるさと祭り、ホテル祭り（宮若市）、ちくじょう祭り（築上町））
- 【イメージソング作成】(2)
- ・ 新市の「市民の歌」として“ソレソレMI・YA・MA！”をつくり、運動会や敬老会などのイベントで活用（みやま市）
 - ・ 新町イメージソング（音頭）の作成及びCD配布、町民憲章の制定（みやこ町）

【その他】

- ・ 神楽講の運営補助を行っている。(築上町)

③ 地域の声が届きにくくなっている

【住民アンケート・意識調査】(14)

- ・ 住民アンケート、意識調査の実施(久留米市、柳川市、八女市、宗像市、福津市、宮若市、嘉麻市、筑前町、東峰村、みやこ町)
- ・ 市民モニター、市民満足度調査の実施(糸島市)
- ・ パブリックコメントを実施するとともに、市民アンケートや市民意見交換会「まちづくりカフェ」を開催(うきは市)
- ・ パブリックコメント制度の制定(朝倉市)
- ・ 庁舎内に「ご意見箱」を設置(福津市、上毛町)

【住民との懇談会等】(10)

- ・ まちづくり懇談会の実施(久留米市)
- ・ 地区(地域)懇談会の実施(飯塚市、うきは市、朝倉市、福智町)
- ・ 校区懇談会の開催(みやま市)
- ・ 町政懇談会を実施(みやこ町、上毛町、築上町)
- ・ 地域審議会から提出された旧町地域の振興に関する提言により旧町地域に存在する課題が明らかになり、その対応策を事業に反映。地域審議会終了後も地域懇談会として協議の場を設置。(久留米市)
- ・ タウンミーティングの実施(飯塚市、うきは市、福智町)
- ・ 移動市長室の開催(福津市、朝倉市)
- ・ 市長をトップとする行政区長会を開催(みやま市)
- ・ 市長が定期的に支所を訪問し、市民との対話を図る(朝倉市)

【地域審議会】(6)

- ・ 旧町ごとに地域審議会を設置(久留米市、柳川市、宗像市、うきは市、朝倉市、糸島市)

【その他】

- ・ 旧町ごとにワークショップを開催(みやこ町)

課題の解決に向けた取組事例 ②

2 行財政の更なる効率化

① 合併算定替の終了に向けての対応

【行財政計画を策定し効率的かつ効果的に財政を運営】(9)

- ・ 行財政計画等の策定(久留米市、飯塚市、柳川市、福津市、宮若市、みやま市、糸島市、筑前町、福智町)

【補助金の整理・見直し】(10)

- ・ 補助金の整理・見直し(飯塚市、柳川市、八女市、宗像市、うきは市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、福智町、築上町)

【計画的な繰上償還】(2)

- ・ 計画的な繰上償還の実施(宗像市、福智町)

【その他】

- ・ 歳出(事業費)の削減を目指す(久留米市、福津市、みやま市、糸島市、筑前町、福智町、みやこ町)
- ・ 新たな財源の確保(久留米市、みやま市、筑前町、福智町)
- ・ 公債費の増加を見込んだ、減債基金への積立て(嘉麻市)
- ・ 平成27年度から施策評価を試行、平成30年度から本格導入(飯塚市)

② 合併に伴い重複となった公共施設等の統廃合

○ 分庁方式を解消し本庁舎に業務を統合(4)

- ・ 住民の利便性や業務効率を見直し、本庁舎へ業務を集中(みやこ町)
- ・ 福岡庁舎へ津屋崎庁舎の部署を移転し、庁舎統合が完了(福津市)
- ・ 平成32年度に本庁舎建設を予定しており、分庁方式を解消(嘉麻市)
- ・ 二丈・志摩庁舎廃止に合わせ、分庁方式も解消。二丈・志摩庁舎は、糸島市交流プラザ二丈館・志摩館として、諸証明発行窓口を開設(糸島市)

○ 公共施設等総合管理計画の策定(全団体)(18)

○ 商工会や体育協会の統合(久留米市、みやま市、筑前町)(3)

③ 庁舎・公共施設等の空きスペースの有効活用

【庁舎の活用】(11)

○ コミュニティ施設(5)

- ・ 旧若宮町役場を解体、除却後、複合施設若宮コミュニティセンター「ハートフル」を開所(宮若市)
- ・ 旧庁舎と公民館を取り壊して、イベントもできる公民館機能を備えた築上町コミュニティセンター(ソピア)を設置(築上町)
- ・ 穂波庁舎を市民交流スペースとして利活用(飯塚市)
- ・ 旧庁舎に「いとしま応援プラザ」を開設(糸島市)
- ・ 庁舎(支所)の一部を住民向けギャラリーとして活用している(福智町)

○ 図書館(4)

- ・ 旧津屋崎庁舎を福津市複合文化センター(図書・歴史資料館)として整備(福津

- 市)
 - ・ 旧赤池庁舎を福智町図書館・歴史資料館「ふくちのち」として改修（福智町）
 - ・ 旧庁舎の一部を図書館として活用（糸島市）
 - ・ 旧庁舎を市民センター兼図書館として整備（うきは市）
- 商工会や民間事業者等への貸出(5)
 - ・ 商工会の事務所として活用（久留米市、八女市）
 - ・ 森林組合の事務所、FM八女事務所、デマンド交通受付コールセンターとして活用（八女市）
 - ・ 支所の空きスペースを一部事務組合や一般社団法人に貸出（みやま市）
 - ・ シルバー人材センターの事務所として活用（筑前町）
 - ・ 筑穂庁舎の1階空きスペースを民間業者へ貸与（カフェスペースとして利用）（飯塚市）
 - ・ 庁舎（支所）の一部をデータセンターとして民間業者に貸付（久留米市）
- その他
 - ・ 旧庁舎を学童保育室として利用（上毛町）
 - ・ 旧立花庁舎を議会棟として活用（八女市）
 - ・ 旧高田庁舎を解体し、用地は民間に売却（みやま市）
 - ・ 旧庁舎の廃止・売却（宗像市）

【学校の活用】(5)

- 体験交流センターやバイオマスセンター等に活用(5)
 - ・ 西友枝小学校の跡地に西友枝体験交流センター「ゆいきらら」を開設（上毛町）
 - ・ 旧大淵小学校を地域間交流施設（げんき館おおぶち）としてリニューアル（八女市）
 - ・ 学校の空き教室を校区公民館として活用（みやま市）
 - ・ 廃校を活用した新たな観光拠点施設の整備（嘉麻市）
 - ・ 廃校を地域活性化施設として活用（築上町）
 - ・ 廃校跡をバイオマスセンター建設に活用（みやま市）

【その他】

- ・ 利用の少ない介護保険サービスセンターをコミュニティセンターに転用（福津市）
- ・ 町営の体育館を中学校の体育館に転用した（福津市）
- ・ 旧県総合庁舎を総合福祉センターとして整備（うきは市）
- ・ うきは市民センターにブランド推進課を設置（うきは市）
- ・ 旧町体育館を解体して跡地を公共施設用駐車場として整備（うきは市）

※ この資料の事例は、平成 29 年度までの各種アンケート調査等における合併市町村の回答などから抜粋・要約したものです。